

一般社団法人 日本臨床栄養代謝学会
2022年度 第2回臨時理事会議事録要旨

日 時：2022年8月2日（火）19：00～21：00

場 所：北里大学医学部上部消化管外科学 主任教授室（WEB会議システム「ZOOM」使用）

出席者：理事長：比企直樹

副理事長：福島亮治

特任顧問：平田公一

監 事：倉田なおみ、田妻 進、花崎和弘

理 事：飯島正平、石井良昌、遠藤陽子、大石英人、尾花和子、小山 諭、
斎藤恵子、佐々木雅也、清水孝宏、高増哲也、千葉正博、中瀬 一、
鍋谷圭宏、丸山道生、三原千恵、名徳倫明、森みさ子、山中英治、
鷺澤尚宏

事務局幹事：櫻谷美貴子、新原正大

欠席者：特任顧問：平井敏弘

監 事：土岐祐一郎

理 事：小谷穰治、鈴木 裕、室井延之

記 録：瀧田実隆（事務局）

（敬称略：五十音順）

議 題：

I. 理事長挨拶

定款第5章第28条に則り、2022年度第2回臨時理事会を開催することが宣言された。議長は理事長が務め、議事録署名は定款第33条に則り理事長と冒頭より出席した監事（田妻 進、花崎和弘 各監事）となることが確認された。また、定款第32条に基づき、出席理事数は理事会開催の定足数を満たしていることを確認され、議事に入った。

II. 第37回学術集会を終えて

飯島会長よりこれまでご協力いただいた理事会の先生方に対して謝辞が述べられた。参加者は10,097人であったと報告された。一部予算については、記録集の作成に使用することが報告された。またプログラム集の印刷不良、会期中の不測の事態について謝罪があり、対応については現在も協議中であることが報告された。そして学術集会運営に必要な情報については、学会本部に継承することが伝えられ、次回以降の会長へ申し送りがなされた。

III. 会員動向について

事務局幹事より2022年6月30日時点の会員動向について、報告された。

■2022年6月30日現在 ※宛先不明12名含む、退会・休会除く

会員種別	2022年4月1日	2022年6月30日	増減
名誉会長	2名	2名	±0名
名誉会員	45名	45名	±0名
特別会員	71名	70名	-1名

代議員	252名	252名	±0名
学術評議員（代議員は除	514名	513名	-1名
正会員	21,864名	22,290名	+426名
寄贈会員	8名	8名	±0名
総数	22,756名	23,180名	+424名

■職種別

医師	4,767名	管理栄養士	6,603名	言語聴覚士	615名
歯科医師	457名	栄養士	42名	歯科衛生士	122名
看護師	4,190名	臨床検査技師	648名	診療放射線技師	4名
准看護師	2名	理学療法士	486名	その他	610名
薬剤師	4,497名	作業療法士	137名	合計	23,180名

■2022年分会費納入率 ※宛先不明・退会・自動退会含む

会員種別	納入者数	未納者数	納入率
代議員	242名	10名	96.03%
学術評議員	477名	36名	92.98%
正会員	19,565名	2,725名	87.26%
総数	20,284名	2,771名	87.98%

物故会員（敬称略）

特別会員 高橋 正彦（2020年11月 逝去）

IV. 選挙管理委員長の選任について

2023年は役員改選年となり、第10回定時社員総会において役員選挙が行われる。定款施行細則に従い、選挙管理委員長は、理事会にて指名することから、千葉正博理事が推薦され、承認された。

V. 各種委員会 新規メンバーの加入について

今後のJSPENを支えるため、理事長と各委員会の委員長とで協議し、下記追加メンバーを選定したことが報告され、理事会にて満場一致で承認された。

- ・将来構想委員会
市川 大輔 先生（山梨大学医学部 外科学講座第1教室）
- ・支部統括委員会
亀井 尚 先生（東北大学大学院医学研究科 消化器外科学分野）
- ・臨床栄養代謝専門療法士認定資格
菅野 義彦 先生（東京医科大学 腎臓内科学分野）

VI. 各種委員会・部会・WT・WG・PT 審議事項

将来構想委員会（鍋谷理事）

①未来研究プロジェクトのメンバー選定について

大塚製薬工場より若手の研究に対する助成金の運用方法を審査する未来研究プロジェクトのメンバーが以下の通り承認された。

鍋谷圭宏（委員長）、石井良昌（副委員長）、上島順子、竹内裕也、二村昭彦、本家淳子

保険委員会（大石理事）

- ①「経鼻胃管の留置確認及び先端技術の評価について」の要望書を厚生労働省に提出することについて

「経鼻胃管の留置確認及び先端技術の評価について」の保険委員会にて検討した要望書を厚生労働省に提出することが承認された。内容については保険委員会で再度精査を行うことが確認された。

臨床研究委員会（飯島理事）

- ①新プロジェクト「Refeeding 症候群のサーベイランス」のメンバーについて

第8回持ち回り理事会で承認された Refeeding 症候群サーベイランスプロジェクトのメンバーに下記を選定したことが報告され、承認された。また、臨床研修委員会の伊藤明彦委員も新たなメンバーとすることが承認された。

飯島正平（プロジェクト長）、伊藤明彦、大村健二、栗原美香、寺田 師、松岡美緒

認定・資格制度委員会（福島副理事長）

- ①NST 専門療法士（歯科医師）から移行した暫定認定歯科医の対応について

NST 専門療法士から暫定認定歯科医に移行した歯科医師の更新対応について、以下2通りの方法が承認された。

認定期間中に(a)または(b)のどちらかの移行方法を選択することができる。

(a) 認定期間中に学術評議員以上の資格を有して「認定歯科医」に移行する。

(b) NST 専門療法士の復活・更新制度を利用して、「NST 専門療法士（歯科医師）」に移行する。

注) (a)を選択した場合は NST 専門療法士資格を失う。そのため数年経過後に、(b)に変更し NST 専門療法士として復活申請を行うことはできない。また (b)を選択した場合は、数年後に「学術評議員」以上の資格を有して、認定歯科医を希望しても、認定歯科医として移行する資格を失うため、改めて認定歯科医資格試験に合格する必要がある。

- ②NST 専門療法士認定試験 過去問題集の更新について

本学会より 2016 年に発刊した過去問題集 I を認定・資格制度委員会が中心となり更新していくことが承認された。

VII. 医学会との折衝について

最初に今回の議題は「学会の名称変更の必要性について」「株式会社ジェフコーポレーション（以下、ジェフ社）と商標権（静脈経腸栄養、日本静脈経腸栄養学会雑誌）の買取交渉を開始することについて」であること、そして非常に機密性が高いため広い意味で招集通知に記載した旨が報告された。各理事、監事、特任顧問は、この会議で知り得た情報を第三者開示しないことに同意された。

- ・ 比企理事長より本年5月にジェフ社の石渡様と会談し2つの商標の買取について少し頭出しする機会があったこと、どのように推移するかは不透明だが商標の売却に前向きなように思った旨が報告された。石渡様は商標売却に伴う金銭的な収入というより、当会との取引再開を望んでいるようだが、継続的な仕事の依頼などはせず、あくまで取引業者のうちの1社として透明性をもって他の業者と平等に扱う旨を了承いただいていることが報告された。
- ・ それを踏まえ、学会名称候補として「日本静脈経腸栄養治療学会」を考えている旨が報告された。
- ・ 商標の買取りとなった際の費用は、会員からの会費が主となるため、必要性の程度を大幅に超えた出費や、当会の財務状況をひっ迫するような高額な費用負担はしない旨が報告された。
- ・ 過去のジェフ社との関係のようになってしまふのではとの意見があったが、ジェフ社に限らず取引業者とは平等な関係を築くことは当然であり、現状通りのスタンスを崩すことなく進めていくことを改めて確認された。
- ・ 今後交渉を行う中でジェフ社が示してくる条件が当会にとってマイナスに働く可能性も考えられるが、交渉にあたってはマイナス面を念頭に置いて対応していくことが報告された。
- ・ 学会名を変更してまだ2年だが、また学会名を変更すると会員に疑念を抱かせてしまう可能性についてのご意見があった。今回の議題は「商標権の買取交渉を開始することについて」であり、学会名を変更するか否かについては改めて機会を設けて、会員の混乱を招かない方法を議論させていただきたい旨を述べられた。
- ・ 学会名を変更した当時は、日本医学会に関する問題は全く予測できず、致し方ない部分もあること、学会名を変更した当初は、日本医学会からも問題視はされていなかったと聞き及んでいることが確認された。

結論として、日本医学会への加盟を続け、関連学会とも友好関係を維持することは必要であり、そのためには、ジェフ社から商標を買い取り、学会名の変更についても検討すべきであることが確認され、ジェフ社と商標権の買取交渉を開始することが承認された。また今後については、学会名称検討委員会を立ち上げ、会員への説明義務も含め慎重にステップを踏んでいくことが確認された。

VIII. その他の報告事項

資金運用の利金について

第2回定例理事会にて承認いただいた資金運用規程に基づき、運用資金の利金300万円が支払われたことが報告された。

第4回定例理事会について

日 時：2022年10月17日(月) 16:00～18:30

場 所：AP 日本橋 A+B ルーム

以 上

2022年8月2日(木)